

## 掛川市海岸線地域ビジョン実施計画（案）に関する意見について

### 1 パブリックコメント（令和5年5月22日（月）～令和5年6月20日（火）実施）

No.	項目	意見の概要	市の考え方
1	P65、67 ワークショップ グループまとめ	USPR 掛川救難所による海上パトロールのエリアが、図面上「水上バイク」のみの表記となっており、一般の方が「水上バイクを楽しむ場所」と誤った認識をしかねないため、修正してください。	P65～67 の2回目、3回目ワークショップのまとめ資料を「 <u>水上オートバイ（USPRによる海上パトロール）</u> 」に修正します。
2	P47 海の安全・安心を守る	海の安全強化のため、救助員の常駐化の検討はうれしい。	P47に記載のとおり、関係団体等とともに地域の拠点づくりについて検討していきます。
3	P42 弁財天海浜公園の活用方法の調査	弁財天海浜公園に行く浜砂橋の拡張を検討してもらいたい。 (現在車1台しか通れなくて不便)	P42に記載のとおり、地元や利用者、関係者等とのワークショップにより、公園全体の将来的な活用方法や維持管理の仕組みについて検討する中で総合的に判断していきます。
4	同上	弁財天海浜公園の展望台の撤去、津波避難施設やオートキャンプ場としての活用など、再整備を検討してもらいたい。	同上
5	P39 サイクリングモデルルート の策定・整備	西大谷川の西側を通っている堤防道路（西大淵94号線、横須賀34号線等）を弁財天川から西大谷ダムまでを結ぶ歩行者と自転車の専用道路として整備したらどうか。	P39に記載のとおり、ナショナルサイクルルートである太平洋岸自転車道を基幹とし、国や県とも連携しながら、市内への周遊を促すルートを検討していきます。
6	P41 森林空間・公園の整備	海岸線沿いに大型公園の建設等、家族で楽しめる施設を建設して欲しい。	P41に記載のとおり、掛川潮騒の杜の整備と併せ、民間活力の導入も視野にその後の維持管理方法も含めて検討していきます。
7	P46 マリンスポーツ大会の開催	釣り大会、サーフィン大会を開催して欲しい。	P46に記載のとおり、現在、民間主催の掛川SUP大会や掛川クラシック（ウインドサーフィン大会）などが開催されています。SUP大会ではSUPフィッシング部門もあります。 引き続き、関係団体とともに大会の活性化や情報発信等に努めてまいります。

8	P38 太平洋岸自転車 道路の再整備	自転車道を早く通れるようにして もらいたい。 砂の除去や草刈りも定期的に行っ て欲しい。	現在、太平洋岸自転車道路は内陸部へ 迂回しております。 P38に記載のとおり、引き続き、袋井 土木事務所と協議を進め、堆砂等による被害の少ない、走行しやすい自転車 道路の再整備を進めます。
9	同上	海岸線沿いの自転車道を復活させ て欲しい。	同上
10	P37 キャンプ場の活 用・情報の受発 信の推進	火剣山（菊川市）のような簡易的に キャンプができる施設をつくるの はどうか。	現在、リバティリゾート大東温泉で キャンプの受け入れを行っています。 その他のエリアでも民間活力を生か したキャンプ場の誘致等を検討して いきます。
11	P42 弁財天海浜公園 の活用方法の調 査	弁財天海浜公園を含め、弁財天川河 口一帯で再整備をお願いしたい。 海、砂浜、砂丘、3本の川が合流し た河口はなかなか無い素材であり、 きれいにしていきたい。 （広い駐車場、トイレのリフォー ム、自販機コーナーの設置、坊主淵 橋の活用、奇跡の一本松の株分けに よるシンボルツリーの植栽など）	P42に記載のとおり、地元や利用者、 関係者等とのワークショップにより、 公園全体の将来的な活用方法や維持 管理の仕組みについて検討する中で 総合的に判断していきます。
12	同上	浜砂橋を広く架け替えてもらいた い。（他に公園に行く道が無く、ポ ンプ車・救急車も渡れない）	同上
13	P29 地引網の復活、 持続可能な活動 支援	沖之須地区でも「一度でいいから地 引網を復活させたい。継続できるな らその策を考えたい。」との話が出 ている。具体的に話が進んでいるな ら、仲間に入れてもらいたい。	現在、遠州千浜地引網「福住丸」保存 会が中心となって活動しています。 P6に記載のとおり、当ビジョンの取組 みは、市民、企業、各種団体、行政等 の連携・協働が不可欠です。ぜひ一緒 に活動しましょう。
14	P61 ワークショップ 参加者	計画案を作る時に意見したかった。 もう少しオープンに募集してもら いたい。若い人に意見を聞いてみて はどうか。	今回のワークショップ参加者は、大 東・大須賀地区の地区まちづくり協議 会及び関係団体等に依頼し、それぞれ 人選をお願いしました。 <u>P61に選出方法についての記載を加え ます。</u> 今後個別事業の具体化を図るワーク ショップを実施する際には、若い人の 意見を聞けるよう周知方法、人選方法 について再考します。

15	P41 トイレの整備、 シャワールーム の設置検討	サンサンファーム近隣にトイレ、シャワー設備を完備した公園、釣り堤防があるとよい。	P10～11に記載のとおり、サンサンファームを含む「大溝川河口周辺」は事業推進における「重点エリア」の1つに位置付けています。 地元や利用者、関係者等とのワークショップにより、重点エリアのランドデザインを考え、地域資源の利活用や維持管理の仕組み等について検討していきます。
16	P42 弁財天海浜公園 の活用方法の調査	小川に水を通し、弁財天川を整備して、釣り公園にする。サーフィンもしやすいようにシャワー、トイレをつけたらどうか。 西大谷ダムの必要性も再確認したい。	P42に記載のとおり、地元や利用者、関係者等とのワークショップにより、公園全体の将来的な活用方法や維持管理の仕組みについて検討する中で総合的に判断していきます。
17	同上	大須賀地区だけ遊具のある公園がないので、砂山公園のアスレチックを復活させて、家族で遊べる環境を作ったらどうか。	同上
18	P38 太平洋岸自転車 道路の再整備	自転車道を修復し、海のある生活の素晴らしさを知ってもらいたい。	P38に記載のとおり、袋井土木事務所と協議を進め、堆砂等による被害の少ない、走行しやすい自転車道路の再整備を進めます。
19	P41 森林空間・公園 の整備	地域や近隣市町の子どもたちが集まれるたまりーなような大型の公園があるとすごく良い。	P41に記載のとおり、掛川潮騒の杜の整備と併せ、民間活力の導入も視野にその後の維持管理方法も含めて検討していきます。
20	P48 大東総合運動場 の更新計画策定	市民プール、サッカー・野球・陸上ができる施設があれば活性化に繋がると思う。スポーツで子どもたちが集まり、活発に子育てできる環境を要望する。	P48に記載のとおり、市内のスポーツ施設は全般的に老朽化が目立つ状況にあるため、海岸線地域のスポーツ施設を含め、市内のスポーツ施設全般の在り方を検討していきます。
21	全体	海岸線地域ビジョン、市の計画が住民まで届いていない。各地区・各区長に話を下ろせば住民に周知されるわけではない。このパブコメも知っている人は市民の何%なのか。 これから地域を担う子どもたち、20、30、40、50代の私たちにとって大変重要な計画なはずなのに、住民の大半がこの計画の内容どころか、計画の存在自体を知らなかった。	令和3年3月に策定した「海岸線地域ビジョン」については、掛川市ホームページへ本編、概要版を掲載するとともに、概要版の回覧、市長記者会見、広報かけがわへの特集記事掲載等により周知を行いました。 実施計画は、より多くの皆様の目に留まり、これから地域づくりをしていく機運が高まるよう周知していきます。 今後、個別事業の具体化を図るワーク

			ショップを実施する際には、これからの地域を担う若い方の意見も取り込めるよう人選を考えていきます。
22	P16 事業一覧	大東エリアは独自事業案が約 30 個（予算 1 億 1,000 万円超）あるのに対し、大須賀エリアはたった 4 個（予算 100 万円弱）であり、内容も抽象的で残念である。 小手指の取組みでは効果は出ない。予算をチビチビ消費するくらいならそのままが良い。	実施計画では、様々な取組みの中でより実現性の高い事業からスタートし、徐々にステップアップしていきます。 P16 に記載のとおり、事業年度や想定事業費も現時点での想定であり、確定したものではありません。 現時点では、既存施設を生かした事業が多く、想定事業費には既存事業も含まれています。 各事業の実施にあたっては、市場調査や関係者との対話を十分に行い、総合的に判断してまいります。
23	P60 ワークショップの開催	ワークショップが何度か開催されていたことについて、海岸線周辺の経営者は「知らなかった」と言う人ばかりだった。 地区から若い世代の住民まで話が下りてこないことがとても多い。 周知・PR が足りていないのでは。地域に根付いて頑張っている人たちを計画に巻き込むべきだと思う。	今回のワークショップ参加者は、大東・大須賀地区の地区まちづくり協議会及び関係団体等に依頼し、それぞれ人選をお願いしました。 <u>P61 に選出方法についての記載を加えます。</u> 事業実施にあたっては、地域の皆様との協働が必要不可欠です。 今後個別事業の具体化を図るワークショップを実施する際には、地域活動に取り組んでいる若い世代も巻き込めるよう人選を考えていきます。
24	P41 森林空間・公園の整備	海岸線中心部から 10km 圏内に大型遊具付き公園が無い。全天候型の遊具施設においては 25km 圏内を超えないと存在しない。逆手に取ればチャンスなのでは？本気で「観光客を引きつけ、投資を呼び込むエリア」にするつもりなら、しっかりと予算を組んで大型遊具付き公園・全天候型遊具施設の建設計画を立ち上げてほしい。 「広野海岸公園（静岡市）」のような海岸を活かした大型公園。砂場のある公園が最近少ないので需要が高いと思う。アスレチックやキャンプ場併設も良いと思う。	P10～11 に記載のとおり、当計画では計画全体を先導し、事業推進を図る「重点エリア」を設定しています。 重点エリアのランドデザインは、地元や利用者、関係者等とのワークショップにより、ご意見を伺いながら、民間活力の導入も視野に地域資源の利活用や維持管理の仕組み等について検討していきます。 公園施設についても、重点エリアのランドデザインを検討する中で総合的に判断していきます。

25	P55 サンサンファームの再生	サンサンファーム内に飲食店を入れたらどうか。「横須賀さしすせそ」と地場産品を使った各種メニューの提供や民間業者・人気店によるプロデュースなどがあると良い。	P10～11に記載のとおり、サンサンファームを含む「大溝川河口周辺」は事業推進における「重点エリア」の1つに位置付けています。 地元や利用者、関係者等とのワークショップにより、周辺エリアの在り方を検討していく中で、現在の観光拠点、直売所の機能だけでなく、多目的機能を有する施設への更新を図り、地域内外から目的地とされる交流拠点を目指します。
26		国道150号線の4車線化について、御前崎～浜松まで一体で計画を考えたほうが道路に統一感が出て良いと思う。走りたくなる、寄りたくなる、150号線になって欲しい。	国道150号線4車線化の実現に向けて、国・県と調整していきます。
27	P55 サンサンファームの再生	原点である直売所の機能のほか、誘客のためには、東側芝生広場に遊具やドックランを設置するなど国道150号線から見えるエリアの利活用が必要と考える。 潮騒の杜も含めた大溝川周辺全体のイメージやゾーニングができないと企業も投資しづらいと思う。 イチゴやサツマイモなどの農業体験を基軸にファミリー層をターゲットにできるポテンシャルのあるエリアである。周辺地域の素材とも繋ぎ合わせる必要がある。	P10～11に記載のとおり、サンサンファームを含む「大溝川河口周辺」は事業推進における「重点エリア」の1つに位置付けています。 地元や利用者、関係者等とのワークショップにより、周辺エリアの在り方を検討していく中で、現在の観光拠点、直売所の機能だけでなく、多目的機能を有する施設への更新を図り、地域内外から目的地とされる交流拠点を目指します。
28	P41 森林空間・公園の整備	砂防林や耕作放棄地などエリアに関わる人みんなで土地の手入れをして維持管理していかないとせっかく施設や公園を作っても周辺が汚くは集客が望めない。 周辺に桜や紫陽花を植えるのも良い。	P6に記載のとおり、当ビジョンの取組みは、市民、企業、各種団体、行政等の連携・協働が不可欠です。 地元や利用者、関係者等とのワークショップにより、地域資源の利活用や維持管理の仕組み等について検討していきます。
29	P25 掲載情報の内容充実	市のホームページの観光マップを見ても民間施設の目印がなく、利用者にとってわかりづらいマップになっている。官民一体となった誘客を図れるような観光マップに更新して欲しい。	P25に記載のとおり、市のホームページや観光情報がより見やすく、探しやすく、最新の情報が入手できるよう、こまめな情報更新を行います。